

市制施行5周年記念

美しい歌声とともに贈るクリスマス・キャロル。心に残る聖夜のコンサート。

クリスマス3大アヴェ・マリア

CHRISTMAS AVE MARIA in BOLISHOY THEATER SEXTET

ボリショイ劇場システット

シューベルト
J.S.バッハ(グノー編曲)
サン＝サーンス

アヴェ・マリア

J.S.バッハ
G線上のアリア

チャイコフスキー
アンダンテ・カンタービレ

ストラデルラ
主よ、憐れみたまえ

アダム
オー・ホーリー・ナイト

モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハトムジーク
アヴェ・ヴェルム・コルプス

シューベルト
ピアノ五重奏「ます」より

フランク
天使の糧 (パニス・アンジェリク)

チャイコフスキー
弦楽セレナーデより
眠りの森の美女より

ルクリオ(編曲)
の御子は今宵しも

グルーバー
きよしこの夜

ほか

厳かに響く弦の音色、天上から降りそそぐ歌声
クリスマススの雰囲気とたっぷり聴かせよう
名門劇場の精鋭ソリストたちが贈る
名曲を集めたクリスマス・コンサート



ボリショイ劇場システット

[ソプラノ] イリーナ・ウダロワ

2004年

12/10 金

18:30開演 18:00開場

たんば田園交響ホール

TEL (079)552-3600

URL <http://www.city.sasayama.hyogo.jp/denen/>

一般4,000円/学生1,000円/団体3,500円
(10名様以上)

全席指定 主催/篠山市

友の会予約:10月17日[日]
一般発売:10月22日[金]

プレイガイド

篠山市内(079)

- 小山書店 ☎552-0019
- 紙ふうせん ☎554-3340
- うかいや書店(篠山店) ☎590-1025
- 森本書房 ☎552-0125
- 黒豆の館 ☎590-8077
- NEWS篠山総合サービスセンター
- 木下楽器 ☎552-0321
- JA丹波ささやま旅行センター ☎594-3700
- サワヤマ楽器 ☎552-2019
- ☎594-3090
- 今田公民館 ☎597-2255

氷上郡内(0795)

- 柏原観光案内所 ☎73-0303
- 丹波の森公苑 ☎72-5170
- 春日町文化ホール ☎74-1050

三田市内(079)

- 三田サティ3Fサービスコーナー ☎564-2121
- 阪急オアシス えるむプラザ店 ☎565-1148

ローソンチケット

☎0570-06-3005
(Lコード)57365

クリスマス3大アヴェ・マリア

ボリショイ劇場システット

あなただけのホワイトクリスマス～ボリショイ劇場システットが贈る
「雪のロシアの暖かいクリスマス」

今年のクリスマスはだれとどこで迎えましょうか？ みなさんそれぞれに今から思いを巡らせていることでしょう。

クリスマスと言えば「雪」。そして、外は雪でも家の中は赤々と燃える「暖炉」が人々の身体を暖める。そこにあるのは心暖まる「音楽」の数々——そんなイメージにぴったりのアンサンブルが雪のロシアから日本を訪れます。

昨年の初来日公演で大評判を呼んだ「ボリショイ劇場システット」が「心暖まる音楽」を携えて、あなただけのクリスマスを今年も演出します。

「ボリショイ劇場システット」はその名の通り、オペラやバレエで有名なロシアの殿堂「ボリショイ劇場」の管弦楽団に所属するメンバーから構成される六重奏団（ピアノとヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）。伝統ある名門管弦楽団だけに一人ひとりの技量は優れ、高い音楽性を誇ります。そうした彼らが二度目の来日に臨んで特別に選んだ曲目は、「雪のロシア」でクリスマスを子どもの時から過ごしてきた彼らならではの「心暖まる音楽」ばかりとなりました。

クリスマスでは必ず聴きたくするのが「アヴェ・マリア」。サン＝サーンス、バッハ（グノー編曲）、シューベルトの各「アヴェ・マリア」は名曲中の名曲として知られ、作曲家それぞれの「マリア讃歌」を聴き比べることができます。

そして今年の特長はロシア音楽の名旋律が並んだこと。チャイコフスキーの「アンダンテ・カンタービレ」（弦楽四重奏曲第1番の第2楽章）、同じくチャイコフスキーの「ワルツ」（弦楽のためのセレナーデ第2楽章）、そしてボロディンの「夜想曲」（弦楽四重奏曲第2番第3楽章）はどれもが単独で演奏されるほど有名な曲。それにチャイコフスキーのバレエ音楽「眠りの森の美女」よりワルツ、ラフマニノフの「6つの歌」の中から「美しい人よ私のために歌わないで」と、これら5曲はクリスマスとは直接関係ないものの、いかにも「雪のロシアのクリスマス」を感じさせる曲です。ほかにもモーツァルトやシューベルト、バッハの名旋律も加わって、会場内が一段と「心暖かいクリスマス」に包まれます。

このコンサートをよりハートウォーミングなコンサートにしてくれるのが、システットに同行するボリショイ劇場の名ソプラノ、イーリーナ・ウダロワ。彼女の透明な歌声で「アヴェ・マリア」や「きよしこの夜」「オー・ホーリー・ナイト」が会場内に静かに響きわたったとき、今年の12月は思い出深いクリスマスとなることでしょう。

今年のクリスマスは「ボリショイ劇場システット」の「アヴェ・マリア クリスマスコンサート」で心暖まる素敵なお送りください。

ボリショイ劇場システット（六重奏）

「ボリショイ劇場システット」は、1964年にボリショイ劇場のオーケストラのメンバーにより設立。オーケストラの中でも選りすぐりのメンバーが集まった室内合奏団は、サンクトペテルブルグ、モスクワはもとより、ウクライナ、ベラルーシ、コーカサス、バルト三国ほかロシア近郊の国を中心に数多くのコンサート活動を展開し、1976年には定期演奏会を始めるなど積極的に活動を拡大してドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、トルコ、ギリシャ、ブルガリア、チェコ、旧ユーゴスラビア、日本ほか数多くの国で海外公演ツアーを行っている。

この合奏団のリーダーを務めるのは、ボリショイ歌劇場オーケストラのコンサートマスター、ナタリア・マリノフスカヤ。ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの6名で構成されている。主なレパートリーはパーセル、コレリ、ヴィヴァルディ、グリムカ、ウェーバー、プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ、シニョッタなど。ほかにヘンデル、ブラームス、シューベルト、ドヴォルジャーク、チャイコフスキー、ラフマニノフ、クライスラー、ガーシュインなどの作品を編曲して演奏している。

また、この団体のための曲を新たに書き下している現代作曲家も数多く、V.クリフツォフ（モスクワ）が「3部の六重奏」「ワルツ」「ソナタ」ほか、V.バルカウカス（リトアニア）、F.キンダーシュ（ハンガリー）、N.ロータス（ギリシャ）などの作曲家が「六重奏曲」を提供している。

コンサート会場や劇場での演奏活動の他に、テレビやラジオ番組に出演して演奏を行い、またチャイコフスキーとラフマニノフの曲をCD収録している。聴衆の心を掴む演奏は、高く評価されている。

イーリーナ・ウダロワ（ソプラノ） IRINA UDALOVA

ボリショイ歌劇場オペラのソリスト。ロシア功労芸術家。ニコラエフスク市生まれ。

キシニョフ芸術大学卒業後、トルクメン歌劇場オペラで活躍。ラフマニノフ『アレコ』のゼムフィーラ、レオンカヴァッロ『道化師』のネッダ、ビゼー『カルメン』のミカエラ、チャイコフスキー『エフゲニー・オネーギン』のタチアナ、チャイコフスキー『イオランタ』のタイトルロール、プッチーニ『蝶々夫人』のタイトルロール、ヴェルディ『仮面舞踏会』のアメリアなどを演じた。1987年、ボリショイ歌劇場オペラにソリストとして入団。さらにレパートリーを広げ、リムスキー＝コルサコフ『ムラーダ』のヴォイスラバ、チャイコフスキー『オルレアンの少女』のヨアンナ、『スペードの女王』のリーザ、ボロディン『イーゴリ公』のヤロスラフナ、リムスキー＝コルサコフ『サルタン王の物語』のミトリサ、グノー『ファウスト』のマルガリータ、ヴェルディ『トロヴァトーレ』のレオノラ、タルゴミジュスキー『石の客』のドンナ・アンナ、プロコフィエフ『3つのオレンジへの恋』のファタ・モルガーナ、『賭博者』のバブレニカ、ダゴミスキー『ルサルカ』のナターシャ、プッチーニ『トゥーランドット』のタイトルロールなどを演じている。1991年、アレクサンドル・セロフ『ユーデイス』のタイトルロールを歌い、CDも録音。スベトラノフ、マンサーフ、チスチャコフ、ラザレフ、ヴェジェルニコフ、ソローキンら著名指揮者との共演も多い。ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場などの名立たる歌劇場にも出演している。日本、フランス、イタリア、スコットランド、イギリス、ドイツ、スペイン、旧ユーゴスラビア、アメリカ公演に参加。オペラ以外の活躍も目覚しく、コンサート活動も多い。1996年にはショスタコーヴィチの「交響曲第14番」のソプラノのパートを歌う。さらに指導者としても注目されている。

